

「新しい環境に進むにあたって」

来年度から、保育所、幼稚園、小学校へ行かれるお子さんをお持ちの方に知って頂きたいお話です。

● 自閉症の障害特性のおさらい

おめめどうのアイテムでのお勧めは、「今日からできる支援のコツ」ですが、別になんでもいいです。簡単な書籍で、基礎知識のおさらいをしてみましょう。三つの定義などは、覚えておくといいですね。基本的な「自閉症の特性」を理解していないと、基礎工事のない上にビルを建てるようなものです。

自閉症スペクトラムの定義（三つ組）

- ① 対人関係の発達のかたより
- ② コミュニケーション能力（とくに言語能力）の発達のかたより
- ③ 想像力（反復的な行動や強いこだわり）の発達のかたより

障害特性が理解できると、お子さんの行動がなぜそうなるのかがわかってきます。また、新しい担任や先生に支援のお願いや様子の説明するときにも必要になります。私は、「理論武装」と呼んでいます（笑）

理解する時のポイントは、うちの子には、この部分はないなあ…とあって、本を読まないことです。本を読んでいて、この特性のどこが「うちの子に当てはまるだろう」って、思って読んで下さいね。「最初に、うちの子にはこの部分は当てはまらない」と思いこんでしまっていては、前に進めないのです。気持ちもわかりますが、それでは、前向きに動き出すことができません。「うちの子は、こだわりがない方なんです…」
「うちの子は、聴覚優位なので…」
「うちの子は、わりと融通が利くんです…」これらは、親御さんの「欲目」「希望」からくる思いこみの場合が多いのです。一度、そう思いこんだら、それらが妨げになってしまい肝心のことに目がいきません。

聞き言葉だけで子育てされている場合は、普段お子さんが親御さんになんとか合わせようと見よう見まねで必死になっていることも多いです。

苦手なのに、そのことがわかってもらえず、仕方がないから親に合わせて暮らす…

それが、後々、お子さんの「心」に「行動」にどんな影響を与えるかは、自分に置き換えてみれば、すぐにわかって頂けるでしょう。

だから、今は「？」かもしれませんが、必ず「うちの子のどの部分がそうだろう」と思って、書籍、資料等を読んで下さい（もちろん、適切な内容のものをですよ…）。

*漫画『光とともに～自閉症児を抱えて～』（秋田書店）などは読みやすくオススメです。